Rinnai® システムアップ用 レンジキット

設置工事説明書

RBO-U604-N（水切りカバー無対応用）
RBO-U604（水切りカバー有対応用）

◈工事される方へのお願い

- この機器を安全に正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- 設置工事が終わったら 7 設置工事後の点検確認 のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。

リンナイ株式会社

UKRU600-136 (00)
07000004702770

1 安全に正しく設置工事していただくために
2 寸法図
3 設置前のご注意
4 ガス配管接続工事
5 電気配線工事
6 機器の設置
7 設置工事後の点検確認
8 試点火および試運転

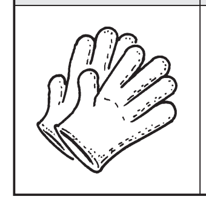
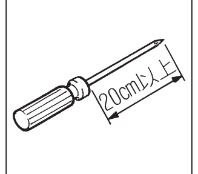
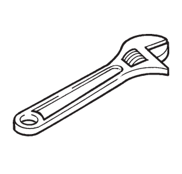
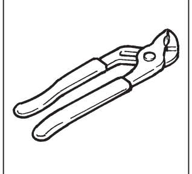
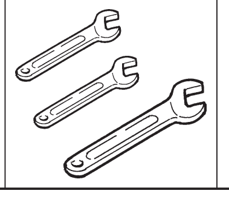
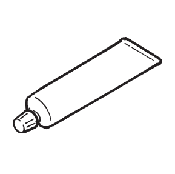
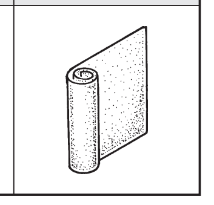
設置する前に必ずお読みください

■このキットは下記のオーブン型式に使用できます。

- RN-660E・RN-860E・RN-660C・RN-860C
- RN-660LD・RN-860LD・RN-660LC・RN-860LC

（RN-660B・RN-860B
RN-660LB・RN-860LB
はRBO-600のレンジキットが必要です。）

■設置に必要な工具

手　袋	⊕ドライバー	配管工具 モンキーレンチ	プライヤー	スパナ 呼び径6・8・21	ガス連絡部用 シール剤	床面保護用養生 シート(古毛布など)
						

1 安全に正しく設置工事していただくために

機器を安全に正しく設置工事していただくためや、設置工事作業者や使用者への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの説明書では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った設置工事を行うと、設置工事作業者、または設置後の製品の不具合によって使用者が、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った設置工事を行うと、設置工事作業者、または設置後の製品の不具合によって使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った設置工事を行うと、設置工事作業者、または設置後の製品の不具合によって使用者が、傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。

⚠ 一般的な危険・警告・注意	⃠ 一般的な禁止	電源プラグを抜く	ぬれ手禁止
● 必ず行う	分解禁止	アース確認	換気必要

特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

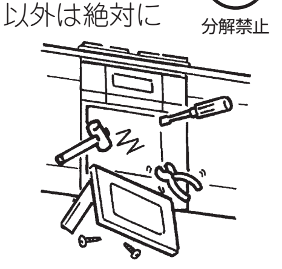
⚠危険

■機器に手を加えない

設置工事で必要なところ以外は絶対に分解したり修理・改造は行わない。

※電波漏れや感電、ガス漏れや火災の原因になる恐れがあります。

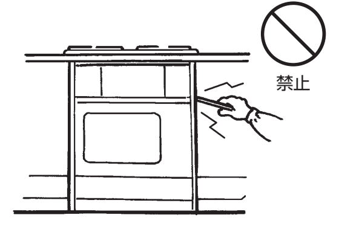
分解禁止



■排気口やすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない

※電波漏れや感電、ガス漏れや火災の原因になる恐れがあります。

禁止



⚠警告

■設置工事は必ず、この「設置工事説明書」とオーブン・コンロ側の「設置工事説明書」と「ガス機器の設置基準および実務指針」（日本ガス機器検査協会刊）に従う

変則的な設置工事をすると事故や火災の原因となります。

確認

■工事終了後は、この「設置工事説明書」とオーブン・コンロ側の「設置工事説明書」と「取扱説明書」をいっしょにして必ずお客様にお渡しする

確認

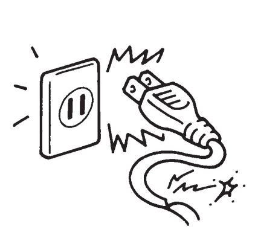
■この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置工事説明書」をよく読み、指定された工事を行う

確認

■傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない

感電、火災の原因になります。

禁止



■ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です

金属管や金属可とう管などによる機器へのガス配管接続工事は必ず有資格者が行ってください。

確認

※印は電子コンベックタイプのみに該当する危険事項です。

オーブン前面または床面に合わせる

⚠警告

■電源コードを加工したり、無理な力を加えたり、物をのせたり、たばねたりしない

感電、火災の原因になります。

禁止

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。

ぬれ手禁止

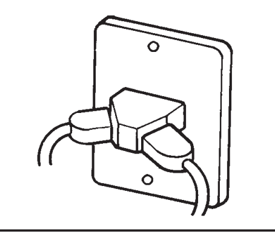
転倒防止金具

■たこ足配線はしない

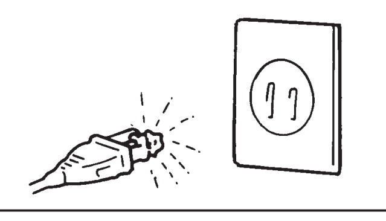
■電源プラグにほこりが付着していないか確認し、プラグの根元までしっかりコンセントに差し込む

ほこりが付着していたり、コンセントへの接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

禁止



ほこりをとる

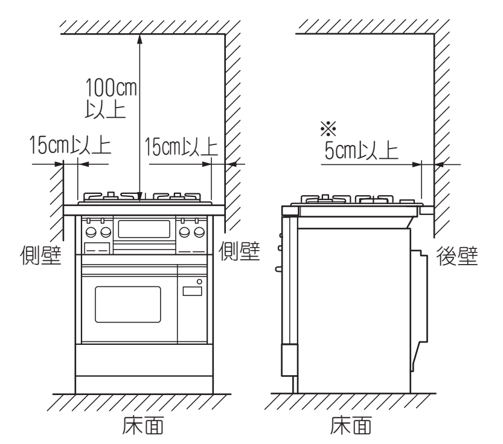


⚠注意

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

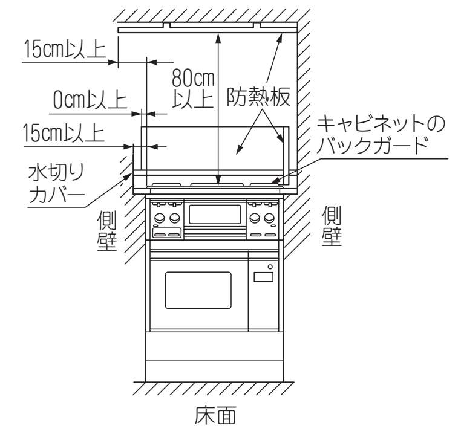
・可燃物との距離を確実にとる（下図参照）
・守れない場合は別売の防熱板を取り付ける

- 火災予防条例で定められています。必ず守ってください。
距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス板などを、直接取り付けてご使用になっても、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。
- 周囲に可燃物（木製の壁、棚など）のある場合は次のようにしてください。
トッププレートより上の側面は15cm以上、後面は5cm以上※、上部はトッププレート上面より100cm以上離して設置します。
- 可燃性の壁（ステンレス板などを張り付けた可燃性の壁も含む）から側面は15cm以上、後面は5cm以上※、また、上部はトッププレート上面から100cm以上離して設置できない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。調理台・流し台の側面などが可燃性で機器のトッププレートより高い場合も、流し台側面を保護してください。
- ガス機器防火性能評定試験基準の変更に伴い、可燃物からの後方離隔距離が製造年月によって異なります。
製造年月は銘板に記載してあります。
〈例〉 09.04 -000001（□：製造年月）
※製造年月09.03以前は15cm以上になります。
- コンロに同梱されている「設置工事説明書」を参照し、**トッププレートから後面の可燃物との距離**を確認し、コンロとオーブン両方満足する距離を確保して、設置してください。



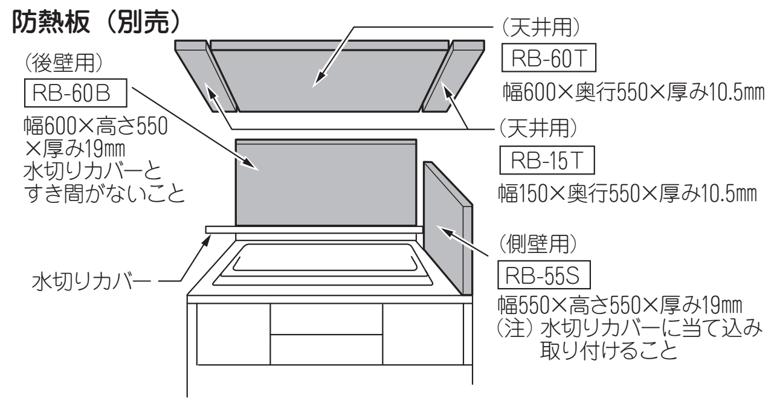
100cm以上
15cm以上
15cm以上
※5cm以上
側壁
側壁
後壁
床面
床面

※製造年月09.03以前は15cm以上



15cm以上
0cm以上
15cm以上
80cm以上
防熱板
キャビネットのバックガード
水切りカバー
側壁
側壁
床面

防熱板（別売）



（後壁用）
RB-60B
幅600×高さ550×厚み19mm
水切りカバーとすき間がないこと
（天井用）
RB-60T
幅600×奥行550×厚み10.5mm
（天井用）
RB-15T
幅150×奥行550×厚み10.5mm
（側壁用）
RB-55S
幅550×高さ550×厚み19mm
（注）水切りカバーに当て込み取り付けること
水切りカバー

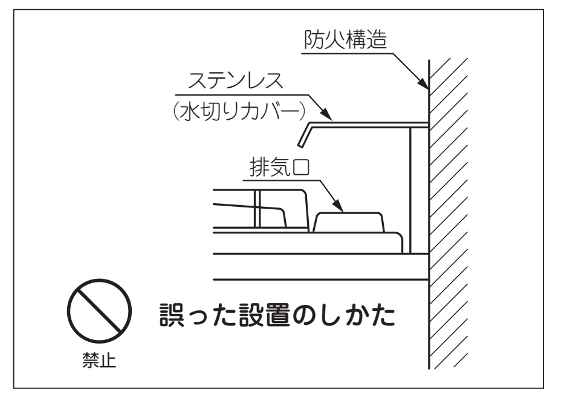
・防熱板については、お買い上げの販売店、またはもよりの当社にお問い合わせください。

■設置するときは、下記の項目に注意してください

- **コンロが防火性能評定品の場合はコンロ部の設置工事説明書に従い設置してください。**
- 設置場所を決めるときは、お客様とよく相談する。
- **燃焼機器を設置する場所には、建築基準法や火災予防条例・電気設備技術基準に定める防火措置を施す。**
- この機器の金属部は、感電・火災などを防止するためにカウンタートップなど家屋の金属部分と電気的に接触しない様に、カウンタートップに絶縁テープなどで絶縁処理をする。（「電気設備技術基準の解釈第167条の3項」による）
- **この機器を設置される台所が、建築基準法に定める（内装制限を受ける調理室）に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。**
- 水平で安定した場所に設置する。
- 指定の防熱板を必ず使用する。
- 車両・船舶には設置しない。
- 排気口をステンレスの水切りカバー（水返しカバー）などでふさがない。
- 十分に換気のできるところに設置する。
- 水のかかるところには設置しない。
- 機器のまわりや上に、スプレー缶・プラスチック・油・紙類などを置かない。
- 棚の下など落下物の危険のあるところには設置しない。
- 湯沸器や樹脂製の照明器具の下へ設置しない。
- 強い風が吹き込む場所や機器本体後方から風が吹き込む場所には設置しない。
（点火しなかったり、温度センサーや立消え安全装置が正しく働かないことがあります）

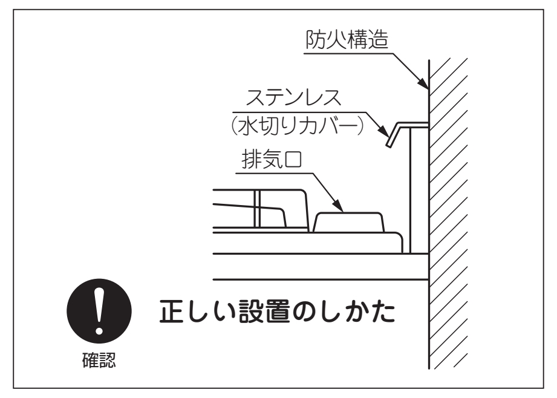
■排気口を水切りカバーなどでおおわないように注意してください。

グリル・オーブンの排熱が壁に入り込み、壁の異常過熱の原因となります。



防火構造
ステンレス（水切りカバー）
排気口
禁止

誤った設置のしかた



防火構造
ステンレス（水切りカバー）
排気口
確認

正しい設置のしかた

⚠注意

■設置する機器が使用するガスの種類（ガスグループ）および使用する電源の電圧に適合していることを銘板で確認する

合っていない場合そのまま使用すると不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、感電の原因となることがあります。また故障の原因にもなります。

銘板は機器の下部扉ウラ側に張ってあります。

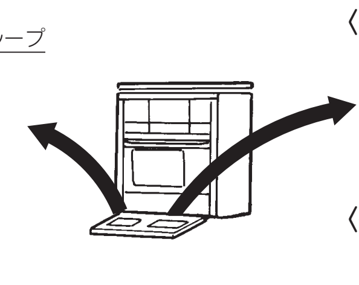
ガス・電源の確認

〈例〉銘板（12A・13Aの場合）　ガスグループ

12A・13A
型式の呼び
○○○○○○○　都市ガス

12A用	13A用
ガス消費量	ガス消費量

製造年月および製造番号　RN



〈例〉 電子コンベックの場合

Rinnai
定格電圧　100V
定格消費電力　1350W
定格周波数　50-60Hz
定格高周波出力　600W

〈例〉 コンベックの場合

電源	AC100V	消費電力
	50Hz-60Hz共用	80W

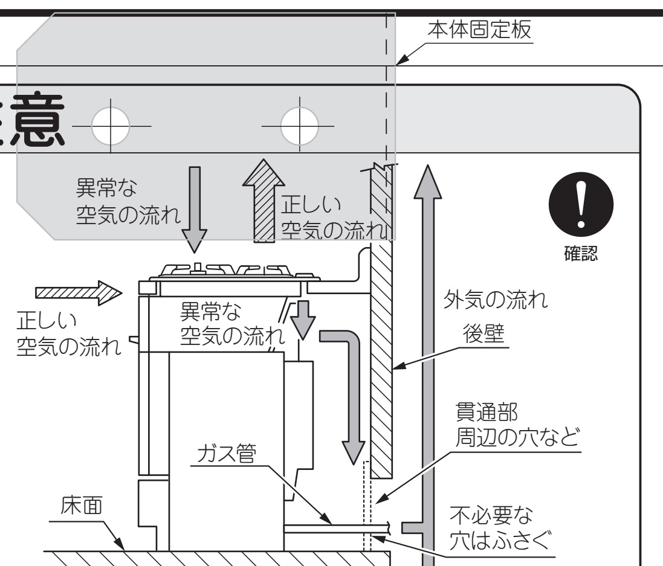
転倒防止金具

本体固定板

⚠注意

■機器後方周辺の穴がふさがっているか確認する

ベニア板などにより貫通部周辺の穴などをふさいでください。集合マンションなどで、ガス配管、電気配線の貫通部で内気と外気がつながり、異常な空気の流れが起こるため、炎がゆらいだり、消火したり、温度センサーが正しく働かないことがあります。



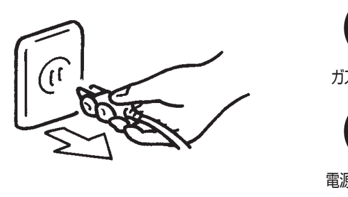
異常な空気の流れ
正しい空気の流れ
正しい空気の流れ
異常な空気の流れ
外気の流れ
後壁
貫通部周辺の穴など
ガス管
床面
不必要な穴はふさぐ

確認

■設置工事後、長期間ご使用にならないときはガス栓（ねじガス栓）を閉め、電源プラグをコンセントから抜く

ガス栓（ねじガス栓）やコンセントは下部扉内にあります。下部扉は上に持ち上げ、手前に引くと開きます。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

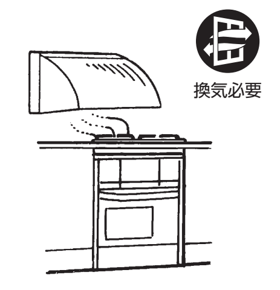


ガス栓を閉める

電源プラグを抜く

■十分な換気設備がある場所に設置する

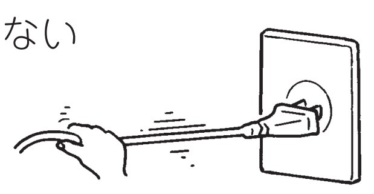
この機器にはレンジフードファンが必要です。設置するガス機器および同一室内に設置してある他の機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置してください。（特に予備ガスコンセントが付いた機器には注意してください）ただし、室内給気式（FE・CF）給湯器・ふろがまを使用している場合は、レンジフードファンを回すと排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になるため、注意が必要です。



換気必要

■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たない

電源コードを引っ張って抜くと電源コードが損傷し、感電や火災の原因となります。



禁止

■機器設置の際には必ず手袋をする

けがの防止になります。

確認

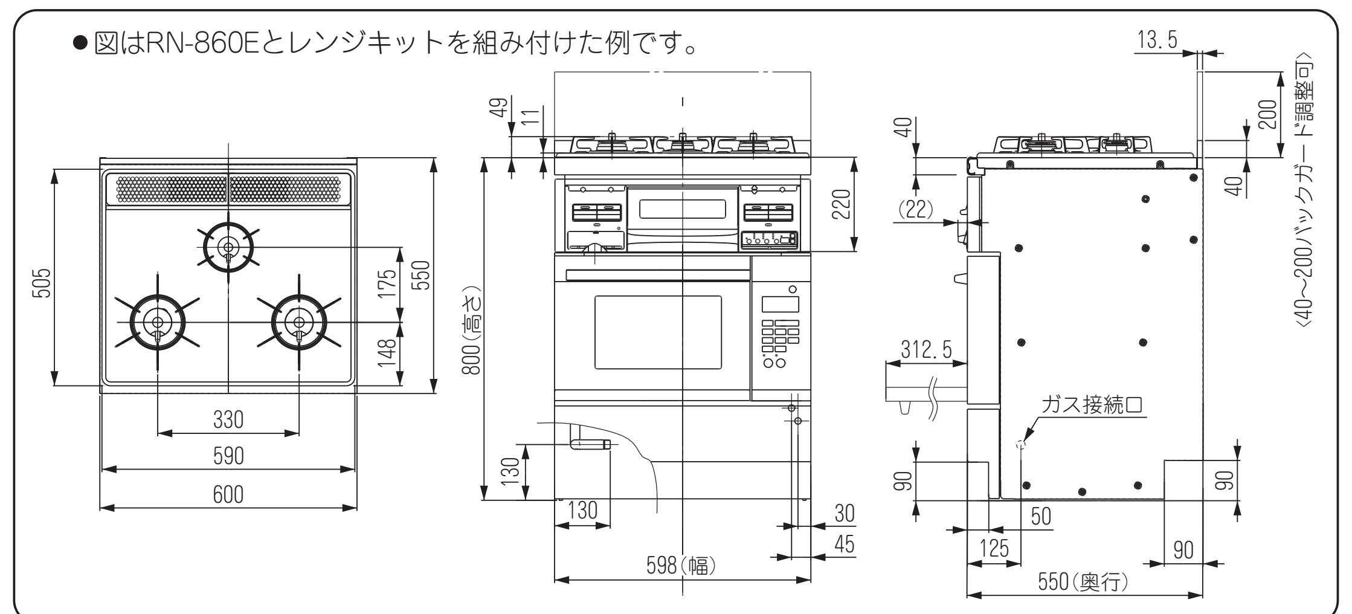
お願い

- 本体をタイルやモルタルで、塗り込まない
- 耐久性などの点から、できるだけ湿気の少ないところに設置する
- ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板（JIS・K・ 6903）またはこれと同等以上の材料を使う
- **表面がニス引きのものは変色する恐れがあるので使用しない**
- 本機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。そのままにしておきますと、思わぬ事故になります。

2 寸法図

1．外形寸法図

- 図はRN-860Eとレンジキットを組み付けた例です。

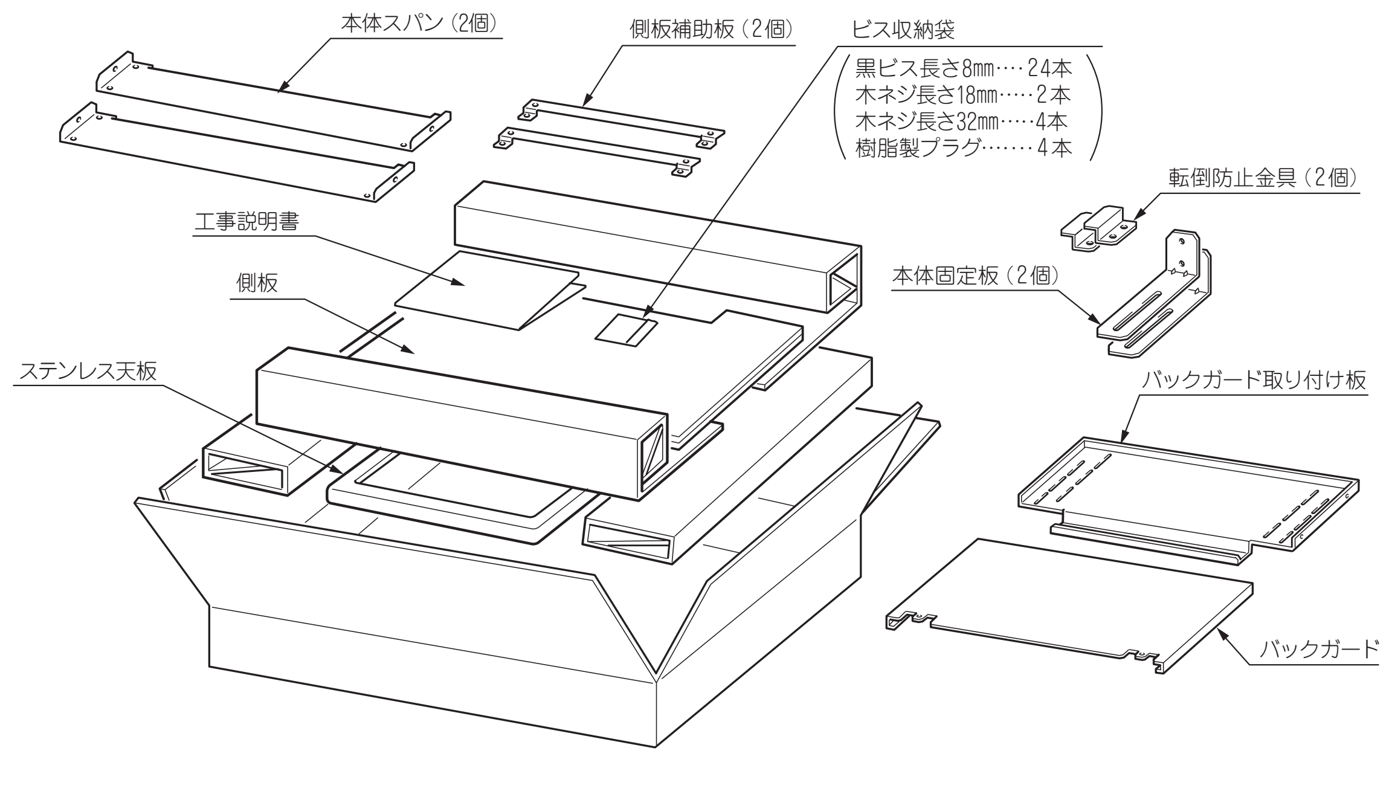


505
175
550
148
330
590
600
49
11
220
800（高さ）
130
130
598（幅）
30
45
13.5
40
(22)
200
40
〈40〜200バックガード調整可〉
312.5
ガス接続口
90
90
50
125
90
550（奥行）

3 設置前のご注意

1．レンジキットを開梱しましたら次の項目を確認してください。

- 部品外観に異常がありませんか？…部品の損傷など。
- テープや梱包用ダンボールを取り除いてください。…輸送中の部品を保護するものです。



本体スパン（2個）
側板補助板（2個）
ピス収納袋
黒ビス長さ8mm…24本
木ネジ長さ18mm…2本
木ネジ長さ32mm…4本
樹脂製プラグ……4本
転倒防止金具（2個）
本体固定板（2個）
工事説明書
側板
ステンレス天板
バックガード取り付け板
バックガード

4 ガス配管接続工事 ガス配管接続は金属管接続してください

⚠警告

■ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です

確認

金属管や金属可とう管などによるガス配管接続工事・取りはずし工事は必ず有資格者が行ってください。
有資格者がいない場合ガス供給事業者の指定する工事店にご依頼ください。

■オーブン側に付属してある設置工事説明書に従いガス配管接続工事をしてください。

5 電気配線工事

■オーブン側に付属してある設置工事説明書に従い電気配線工事をしてください。

本体固定板

6 機器の設置

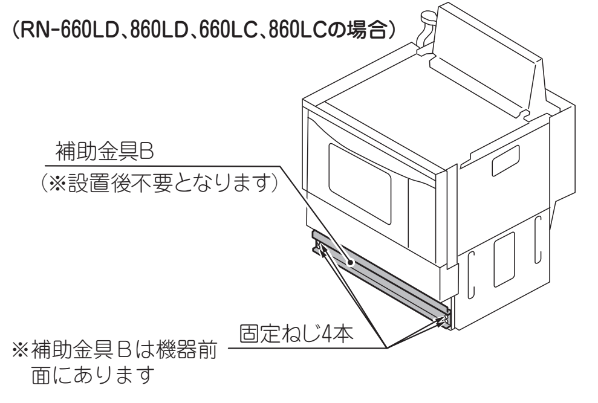
1．本体後部下の輸送用補強金具をはずす

■輸送用補強金具Bを取りはずす 図1

- 取りはずした補強金具は、設置後不要となります。
- 補強金具Aは後ほど取りはずします。

図1（機器前面）

（RN-660LD、860LD、660LC、860LCの場合）

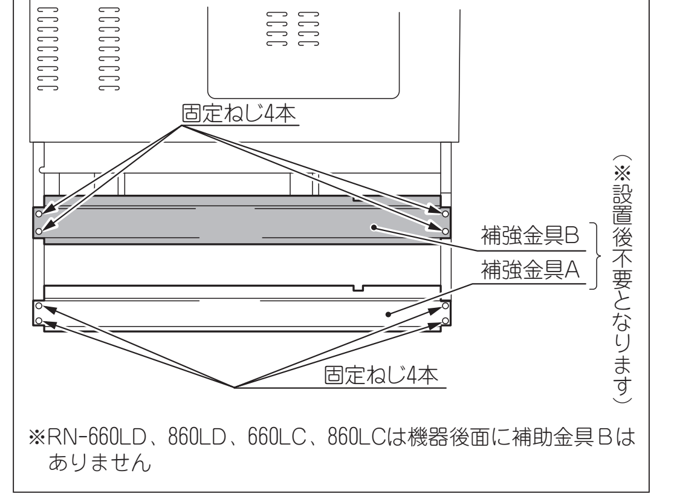


補助金具B
（※設置後不要となります）
固定ねじ4本

※補助金具Bは機器前面にあります

図1（機器後面）

（RN-660E、860E、660C、860Cの場合）



固定ねじ4本
補強金具B
補強金具A
（※設置後不要となります）
固定ねじ4本

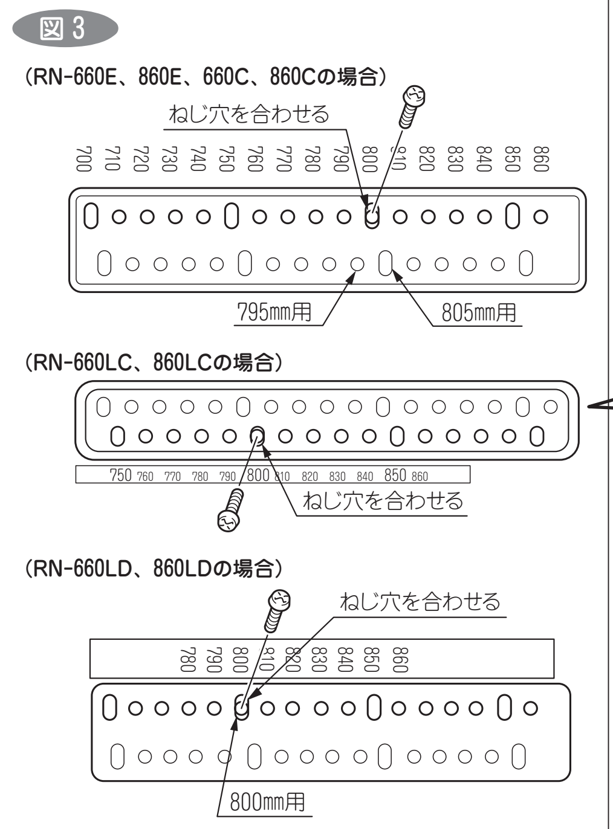
※RN-660LD、860LD、660LC、860LCは機器後面に補助金具Bはありません

2．オーブン高さを変更する

■ビルトインオーブンの高さを調整する 図2

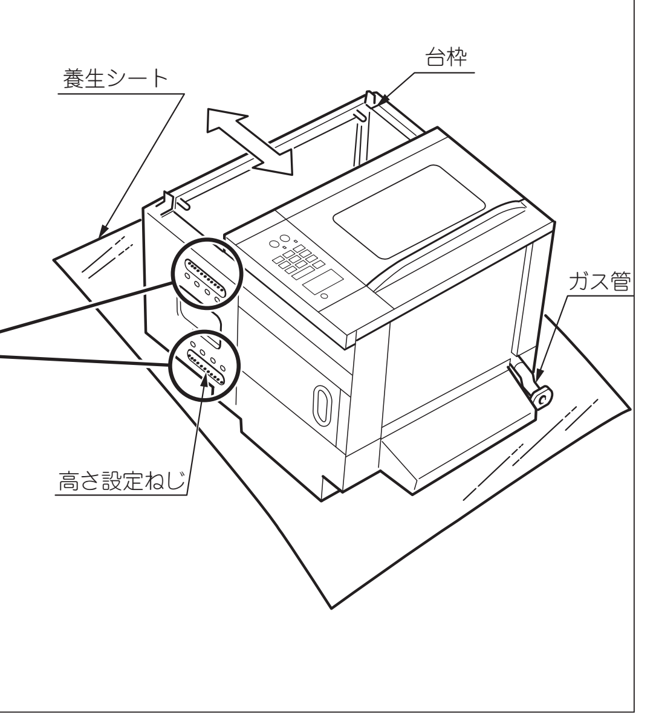
- 床を保護するため、養生シート（古毛布など）を敷く。
- ガス管を持って機器を後向きに倒す。
- 〈850〉の高さ設定ねじを取りはずす。
- 台枠をスライドさせて、ねじ穴を800に合わせ、高さ設定ねじを打ち直す。図3

図3



（RN-660E、860E、660C、860Cの場合）
ねじ穴を合わせる
700 710 720 730 740 750 760 770 780 790 800 810 820 830 840 850 860
795mm用
805mm用
（RN-660LC、860LCの場合）
750 760 770 780 790 800 810 820 830 840 850 860
ねじ穴を合わせる
（RN-660LD、860LDの場合）
ねじ穴を合わせる
780 790 800 810 820 830 840 850 860
800mm用

図2



養生シート
台枠
ガス管
高さ設定ねじ

800以外のところにねじを打つと側板が取り付きません。

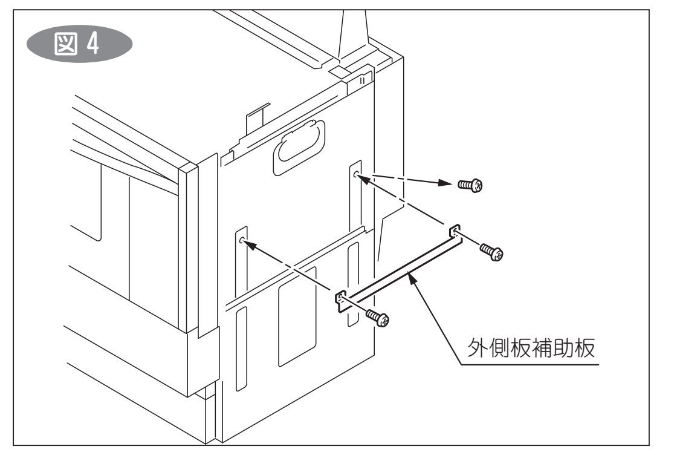
3．レンジキットの側板補助板を取り出し取り付ける

■側板補助板を本体左右に取り付ける。（左右2個所）

図4

- 輸送用補強金具Bの取り付けビス4本を利用して外側板補助板を取り付ける。（上、下の方向性があるので注意すること。右側には既にビスが打ってあるのでそれを利用すること。RN-660E、860E、660C、860Cの場合）

図4

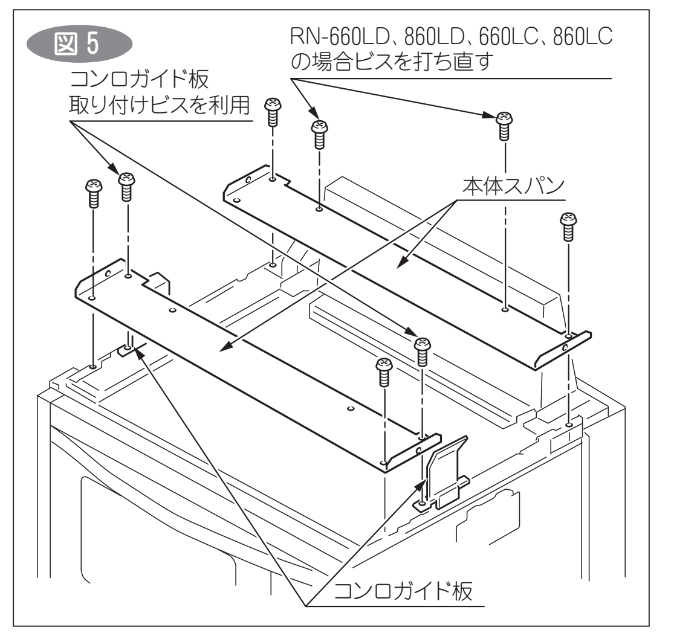


4．レンジキットの本体スパンを取り出し取り付ける

■本体スパンを取り付ける。 図5

- 前の本体スパンをコンロガイド板取り付けの手前のビスを利用して取り付ける。（切り欠きのある側が奥になるよう取り付ける。輸送用補強金具Bの固定ねじ2本を利用します。）
- 後ろの本体スパンは後ろ側のビス2本のみで取り付けます。（手持ちのビスがない場合は、次の 5 で取りはずすビスを利用します。）
- RN-660LD、860LD、660LC、860LCの場合、後ろのビスを打ち直します。

図5



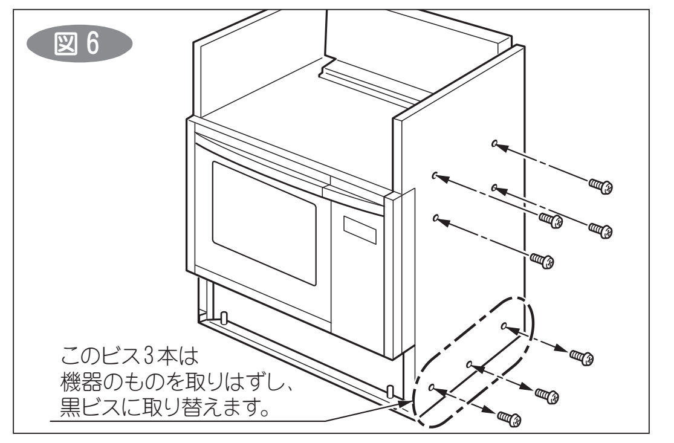
RN-660LD、860LD、660LC、860LCの場合ビスを打ち直す
コンロガイド板取り付けビスを利用
本体スパン
コンロガイド板

5．レンジキットの側板を取り出し取り付ける

■本体側板を取り付ける 図6

キットに同梱してあるビス（黒ビス各7本）にて側板右、左を取り付ける。
（右、左があるので注意すること）

図6


このビス3本は機器のものを取りはずし、黒ビスに取り替えます。

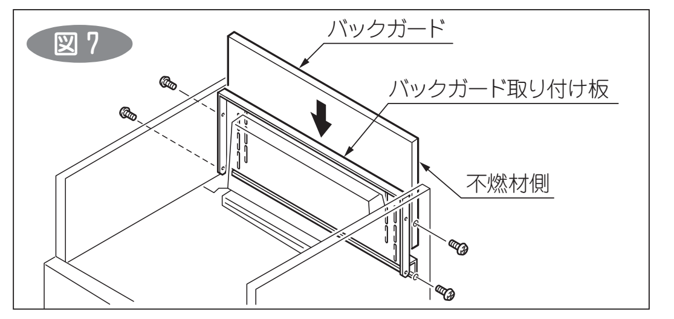
6．バックガード取り付け板、バックガードを取り付ける

■キットに同梱してあるビス（黒ビス各2本）にてバックガード取り付け板を取り付ける。

図7

■本体側板とバックガード取り付け板の間にバックガードを落とし込む。（不燃材が見える側を裏にします）

図7



バックガード
バックガード取り付け板
不燃材側

7．レンジキットのステンレス天板を取り付ける

■ステンレス天板を取り付ける 図8
キットに同梱してあるビス（黒ビス各２本）にてステンレス天板を取り付ける。

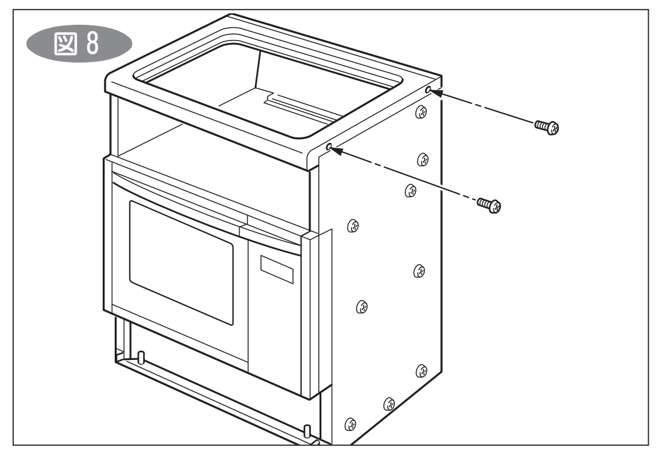


図８

8．本体後部下の輸送用補強金具をはずす

■輸送用補強金具Ａを取りはずす 図９

- ●取りはずした補強金具Ａは、設置後不要となります。

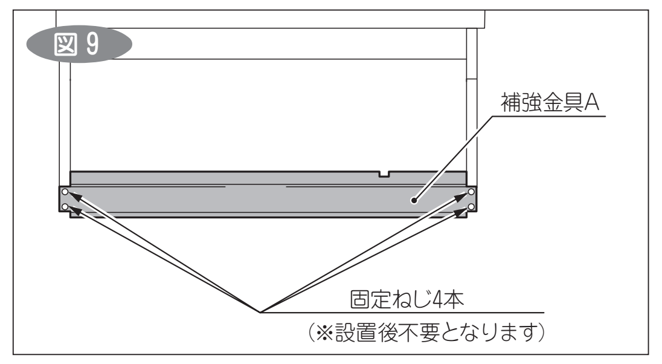


図９
補強金具A
固定ねじ4本
（※設置後不要となります）

9．電源コード、アース線を接続する

■中継電源コードをコンセントに、アース線をコンセントのアース端子に、確実に接続する。 図10

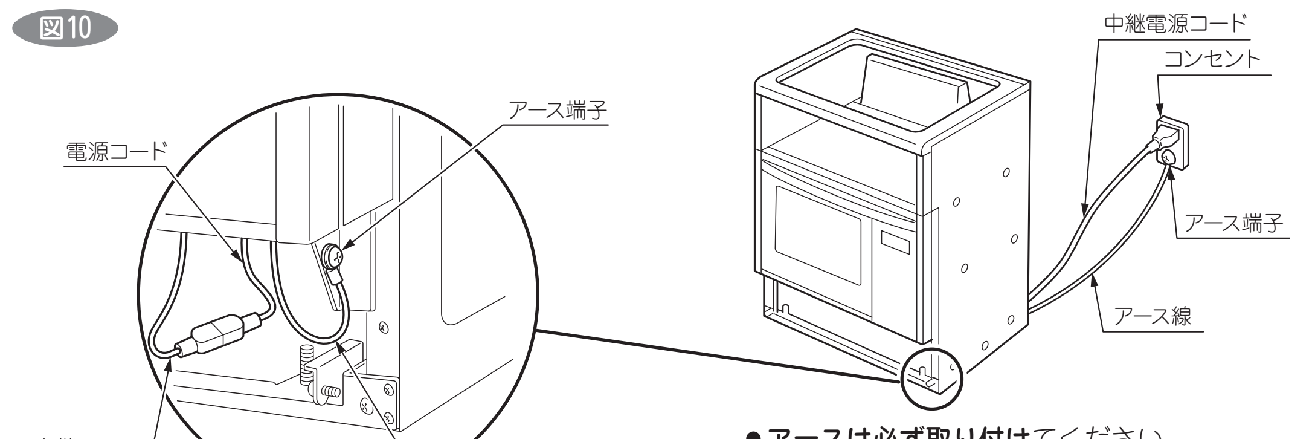


図10
電源コード
アース端子
中継
電源コード
アース線
中継電源コード
コンセント
アース端子
アース線

- ●**アースは必ず取り付け**てください。
- ●オーブン側に付属してある設置工事説明書を参照してください。

10. 機器を設置する

■機器をキャビネットに設置する。 図11

- ●アース線、電源コードをかみ込まないように設置する。
- ●キャビネット側板前面と本体エンドピース後面を合わせる。

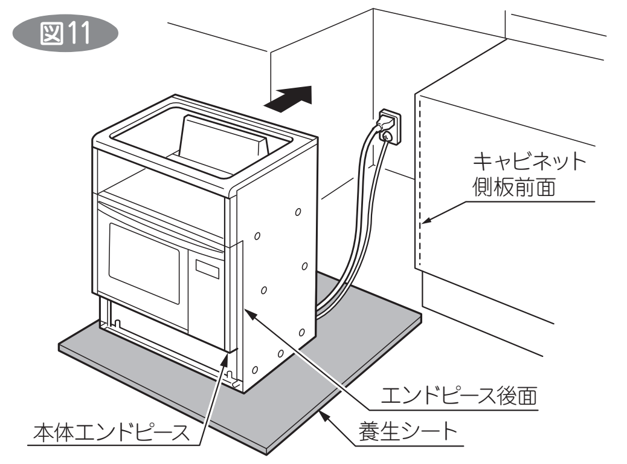


図11
キャビネット
側板前面
エンドピース後面
本体エンドピース
養生シート

11. オーブンの固定をする

■レンジキットに付属の木ねじ２本を使用し両側のキャビネットに固定する。

- ●本体左右の目隠しクリップを内側よりつかみ取り除いておきます。 図12
- ●オーブンの前後の位置をキャビネットのとびらの位置と揃え､内側より木ねじ（Ｌ＝18㎜）を左右に差し込んで固定します。 図13

■左右のキャビネットで固定できない場合

- ●背面の壁にて固定する方法と底面の床にて固定する方法があります。

①背面の壁にて固定する方法

〈背面の壁より奥行100㎜以内の場合〉

- ●オーブン背面の右図の壁位置に本体固定板を取り付けます。 図16

⚠注意

背面壁がコンクリートなどの場合は、コンクリートに直径７㎜、深さ40㎜の穴を左右に２個あけ、付属の樹脂製プラグを打ちこんだ後、本体固定金具を背面壁に取り付ける。

- ●その後オーブンを移動させてオーブンの排気筒取り付けビスと共締めします。（ 8 で取りはずしたビスを使用します） 図14

②底面の床にて固定する方法

〈背面の壁より100㎜以上の場合〉

- ●オーブン床面の右図位置に転倒防止金具を取り付けます。 図16
- ●その後オーブンを移動させてオーブンを固定します。 図15

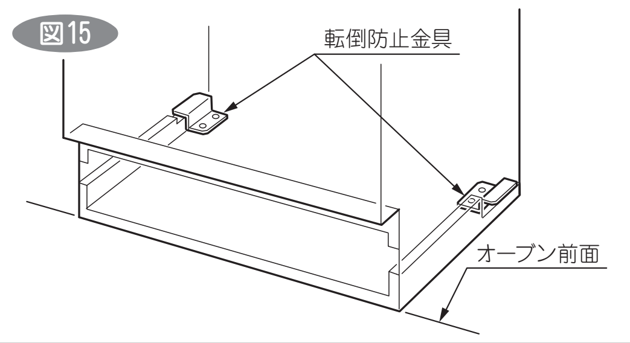


図15
転倒防止金具
オーブン前面

- ●この設置工事説明書の表面が本体固定板、および転倒防止金具の型紙となっています。右記の図のように広げてテープで固定し、本体固定板、転倒防止金具の取り付け位置の参考としてください。 図17

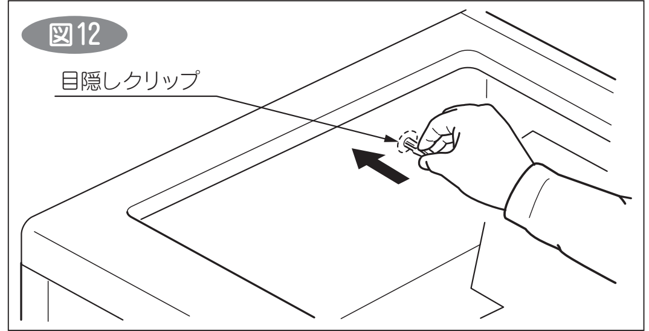


図12

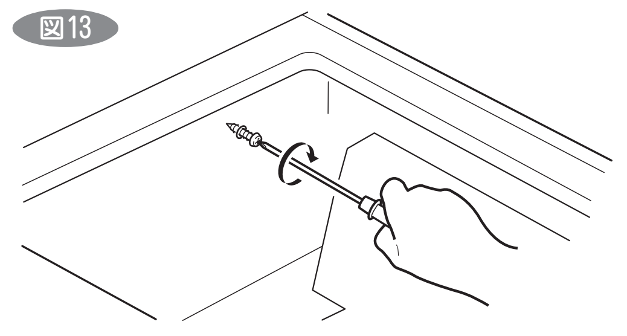


図13

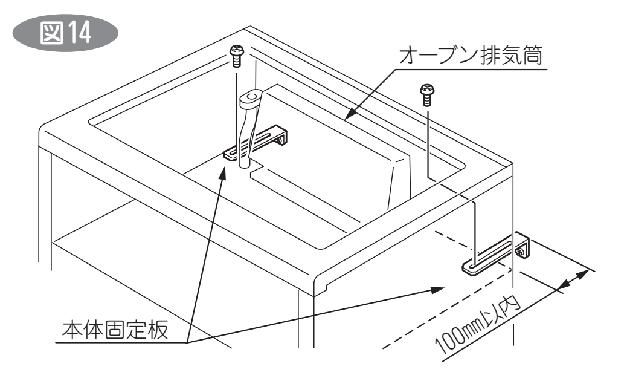


図14
オーブン排気筒
本体固定板
100㎜以内

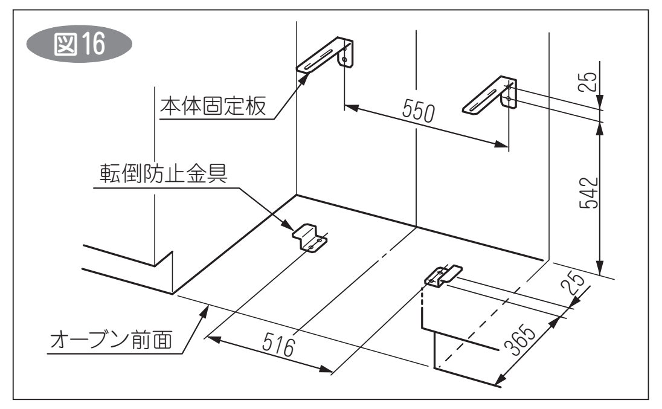


図16
本体固定板
550
25
542
25
転倒防止金具
オーブン前面
516
365

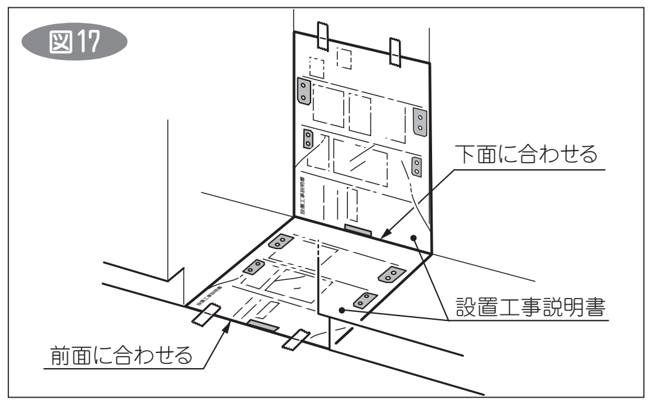


図17
下面に合わせる
設置工事説明書
前面に合わせる

12. バックガード高さを調整する

■コンロ内側よりバックガードを持ち上げ水切りカバーの下面に合わせ正面よりビスを打つ。（付属の黒ビスを利用します） 図18

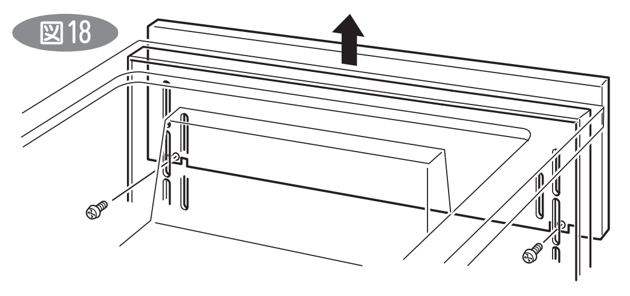


図18

■水切りカバーが無い場合（RBO-U604-Nの場合）

- ●機器後方の壁が1000㎜以上の高さで段差が無い場合はバックガードの高さを上限の200㎜の高さにし、バックガード取り付けねじ（左右各２本）で固定する。 図19

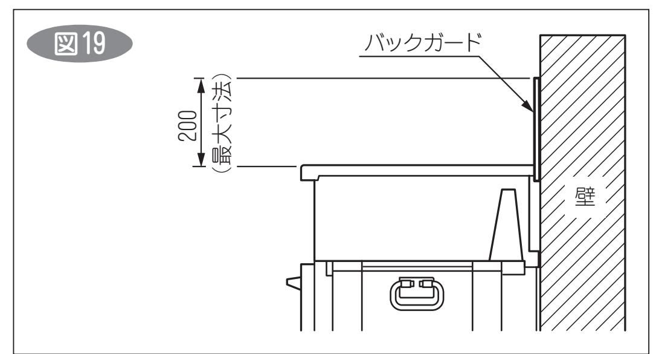


図19
バックガード
200
（最大寸法）
壁

- ●機器後方の壁が1000㎜以下で段差がある場合はバックガードの高さを段差に合わせて固定する。 図20

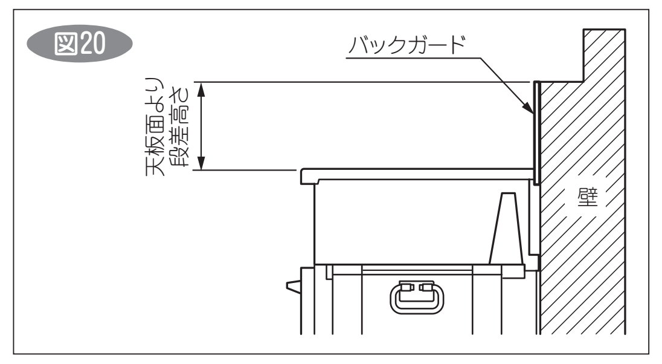


図20
バックガード
天板面より
段差高さ
壁

■水切りカバーがある場合（RBO-U604の場合）

- ●バックガードを水切りカバー裏側に当てた状態で固定する。
  このとき、水切りカバーとバックガードの先端部にすき間が生じないこと。 図21

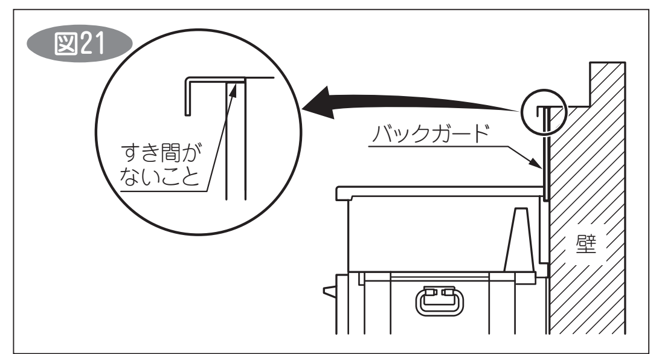


図21
すき間が
ないこと
バックガード
壁

- ●水切りカバーがコンロのグリル排気口にかからないよう注意すること。 図22

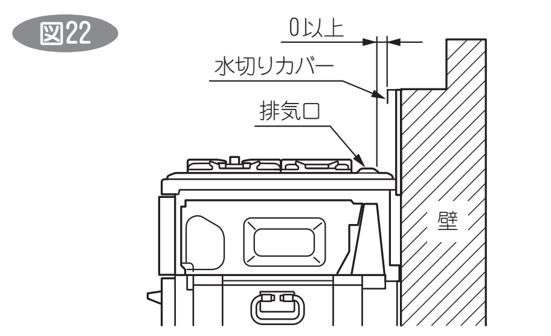


図22
0以上
水切りカバー
排気口
壁

■バックガードを高さ調節後、ステンレストップとバックガードのすき間をシリコン接着剤でシールコーティングする。 図23

- ●シールコーティングはキャビネット裏側への水の浸入を防ぐためのものです。塗布する個所は高温のため､市販の耐熱150℃以上のシリコン接着剤を使用してください。シールコーティングは、シールテープなどでマスキングし行うと上手く仕上げることができます。

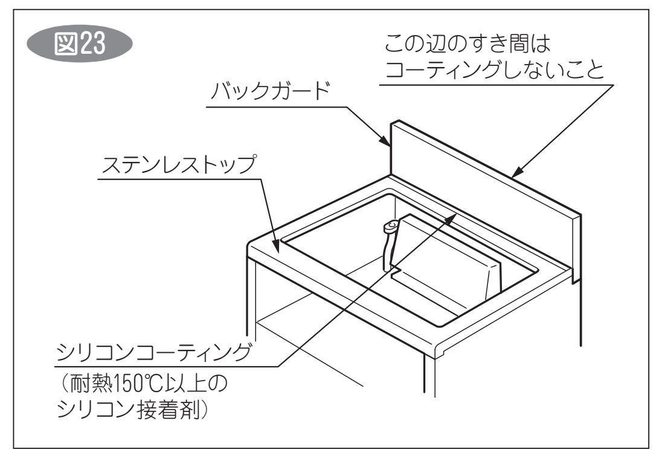


図23
この辺のすき間は
コーティングしないこと
バックガード
ステンレストップ
シリコンコーティング
（耐熱150℃以上の
シリコン接着剤）

13. ガス接続口の接続用シール栓をはずす

■接続用シール栓をはずす。 図24

- ●ビルトインオーブンのガス接続口の接続用シール栓を取りはずす。
- ●接続口の固定ねじ１本をはずす。
- ●シール栓押え板を回転させてから、取りはずしたのちに接続用シール栓の突起部をペンチなどではさんで引き抜いてください。
- ●工具がない場合は、シール栓の突起部にシール栓押え板の切り欠き部を引っかけて、抜いてください。

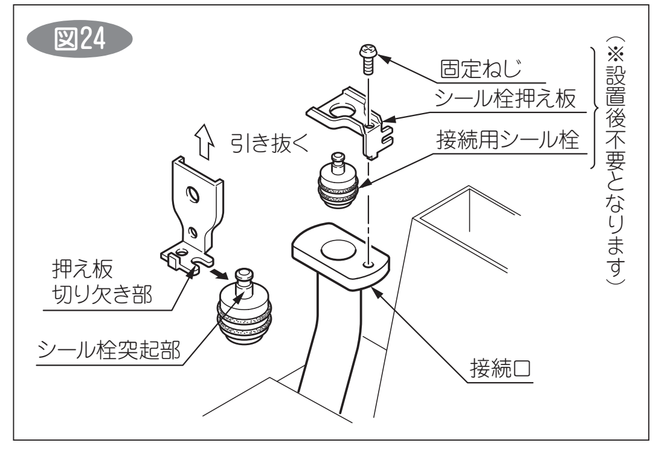


図24
固定ねじ
シール栓押え板
接続用シール栓
（※設置後不要となります）
引き抜く
押え板
切り欠き部
シール栓突起部
接続口

14. コンロ側の準備作業

■オーブンの設置工事説明書の 6 設置前の準備作業 に従い、コンロ部の仕様を確認変更し、組み込む準備をします。

- ●**レンジフード連動タイプコンロの場合は、コンロとオーブンの配線をします。**
- ●**コンロがAC100V電源を使用している場合は、電源コードをオーブン部底面前方右側の電源コンセントに接続します。**

15. コンロの組み込み

①コンロの組み込み

- ●コンロの施工取っ手を右手で持ち、ドッキング用連絡管に左手を添えます。
- ●前面を先に挿入し、オーブン部の排気ボックスにのり上げないように注意しながら､左手でドッキング用連絡管の管端を、オーブンの接続口に合わせて挿入し、コンロをオーブンに取り付けます。 図25
- ●ドッキング用連絡管をオーブンの接続口に最後までもう一度押し込んでください。 図26
- ●補助ダクトが、オーブン部の排気ボックスに乗り上げていないか確認してください。 図27

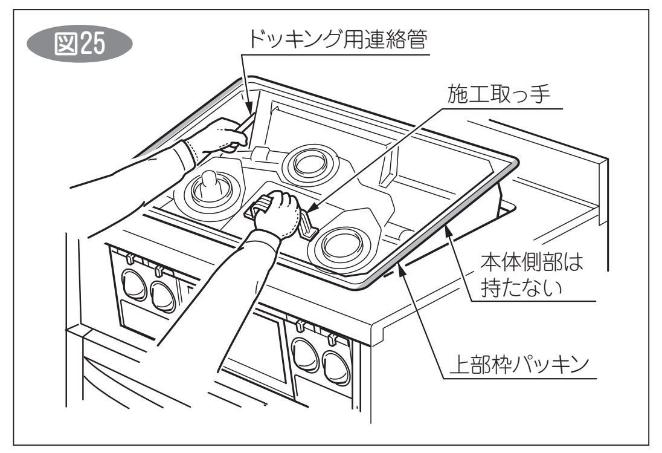


図25
ドッキング用連絡管
施工取っ手
本体側部は
持たない
上部枠パッキン

②連絡管押え板の取り付け 図26

- ●ドッキング用連絡管についているオーブン側の連絡管押え板を回転して合わせ、固定ねじ１本で確実に取り付けてください。
- ●連絡管押え板が回転できずに、浮き上がるときは連絡管を奥まで押し込んでください。

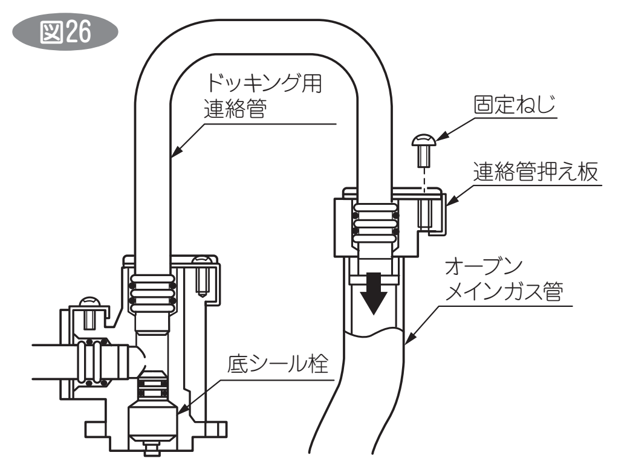


図26
ドッキング用
連絡管
固定ねじ
連絡管押え板
オーブン
メインガス管
底シール栓

⚠注意

禁止
■Ｏリングに傷をつけない。
・ガス漏れにつながる可能性があります。
■Ｏリングにはグリスを塗布しているので、絶対にグリスを拭き取らない。
■Ｏリング部にはガス用シール剤を塗布しないでください。

確認
■Ｏリングが付いていることを確認する。
■接続は、確実に行う。

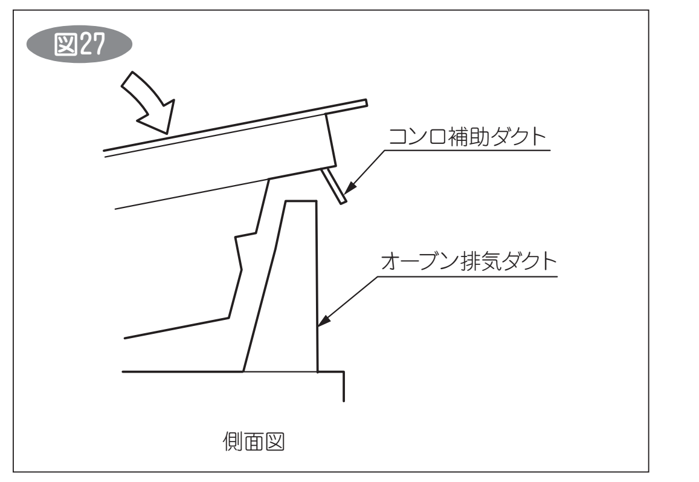


図27
コンロ補助ダクト
オーブン排気ダクト
側面図

16. グリルとびらとエンドピースの取り付け

■グリルとびらとエンドピースの取り付け
図28

- ●キャビネット側板前面と本体エンドピース後ろを合わせる。
- ●コンロ部とオーブン部のエンドピースのすき間Ｂ寸法は、約10㎜になります。
- ●ワークトップからコンロ部が浮き上がっていないか確認してください。

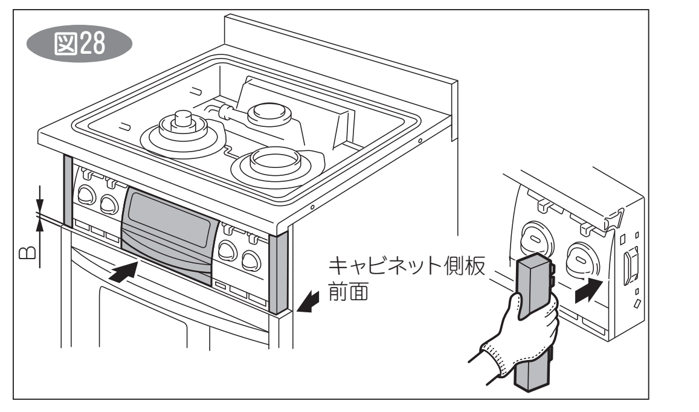


図28
B
キャビネット側板
前面

17. 機器の固定

①コンロ部とオーブン部の固定 図29

- ●コンロ部の本体固定用穴とオーブン部の本体固定用ねじ穴を合わせてください。また、コンロ部の前面とオーブン部の前面が合っているか確認してください。
- ●オーブンに同梱してある本体固定ねじ２本（赤φ５）で、固定します。

②ステンレス天板への固定 図30

- ●本体側面についている止めねじを回して、機器を動かない程度に固定してください。
- ●締めこみすぎると､ステンレス天板を壊したり、機器が変形したり、パッキンが浮く原因になります。

〈使用工具〉
プラスドライバー、スパナ（呼び８）、ペンチ

- ●スパナがない場合は、ペンチ・プライヤー・ラジオペンチなどで止めねじの六角部をはさんで、ねじを回してください。

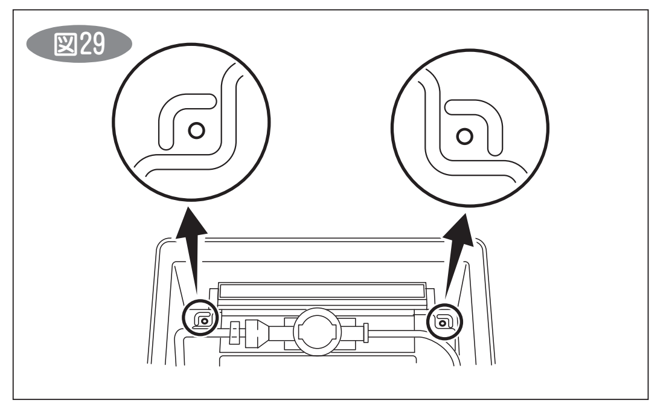


図29

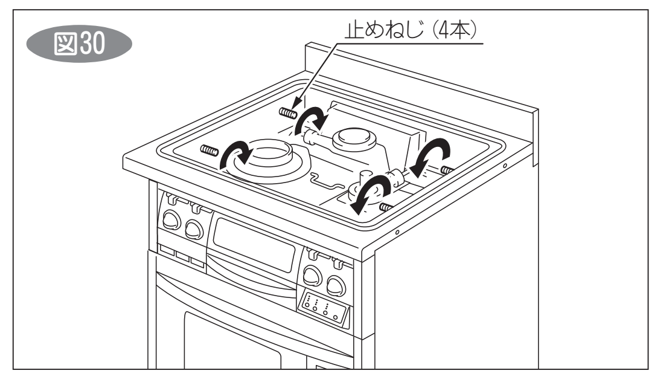


図30

18. 連絡管カバーの取り付け

■連絡管カバーの取り付け 図31

- ●オーブンに同梱してある連絡管カバーの片側をコンロ本体に引っかけ、もう一方は、コンロ本体後ろ板の左側に､固定ねじ１本で固定します。
- ●連絡管カバーの手前側（細長い部分）が後ろバーナー（もしくは後ろバーナー連絡管）に乗り上げていないか確認してください。

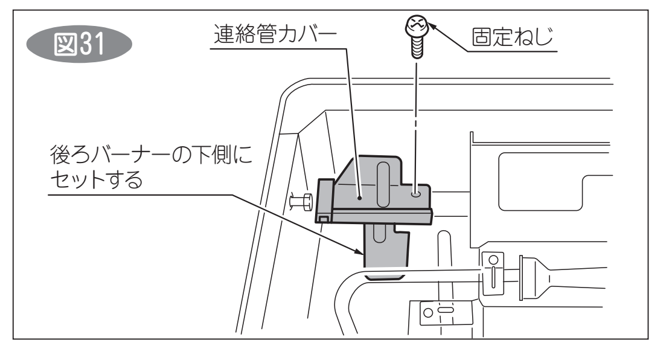


図31
連絡管カバー
固定ねじ
後ろバーナーの下側に
セットする

19. 部品の取り付け

■トッププレート･排気口カバー･ごとく･煮こぼれカバーリング･バーナーキャップ･乾電池などの取り付け

- ●コンロの取扱説明書を参照して、取り付けてください。

20. アジャスターを調整する

■アジャスターは床にふれてから１回りを目安に締める。（呼び６） 図32

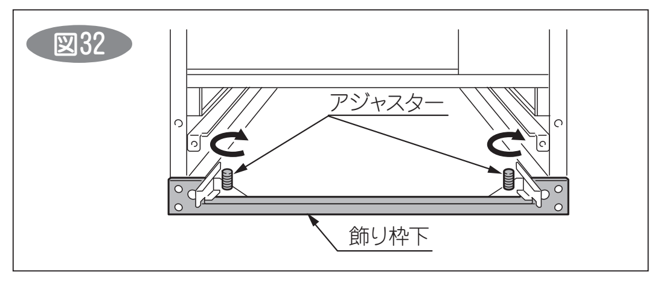


図32
アジャスター
飾り枠下

21. ガス配管接続を行い、下部扉を取り付ける

RN-660LC、860LCの場合はオーブンの設置工事説明書に従い下部扉を取り付けてください。

■ガス配管接続作業を行う。

- ●ガス配管接続作業がしにくい場合は、前面下部の飾り枠下を取りはずして作業を行ってください。接続完了後は再び取り付けてください。
  図33

■下部扉下を下部扉にさし込む。（右図参照）
図33

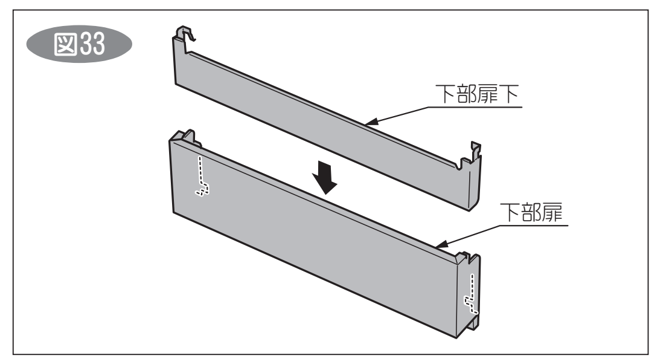


図33

■下部扉取り付けねじ（黒色２本）で下部扉下を固定する。 図34

- ●下部扉取り付けねじは、あらかじめ打ってあります。一度はずして、下部扉下を取り付けた後、打ちなおしてください。

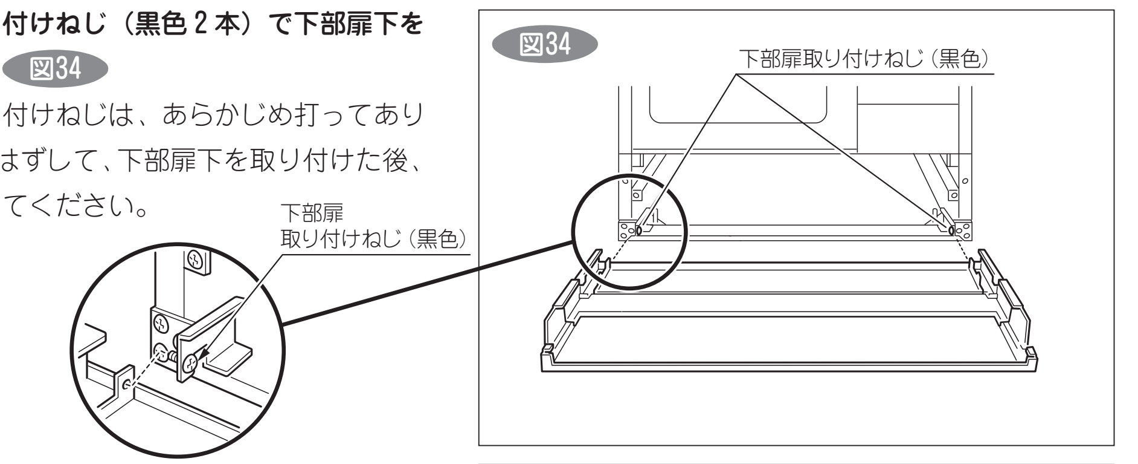


図34
下部扉取り付けねじ（黒色）
下部扉
取り付けねじ（黒色）

■下部扉セット後、支障なく開閉できるか確認をする。 図35

- ●下部扉は引っ掛け方式となっています。右図のように持ち上げながら閉じてください。

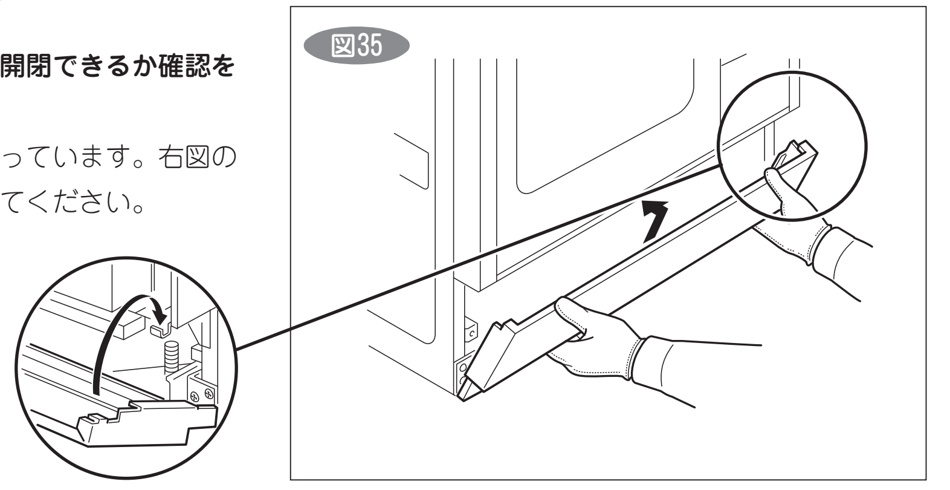


図35

⚠警告

確認
■ガス漏れ検査を行う
圧力計を使い検査を行う場合は、5kPa（約500mH₂O）以下で行ってください。

22. ガス配管工事後点火確認をする

- ●ガス栓（ねじガス栓）を開き取扱説明書に基づきオーブン・コンロの点火の確認を行う。
  - ●点火確認をする前にガス漏れがないか確認してください。
  - ●コンロの点着火ができない場合 19 部分を再度チェックし点火確認してください。
  - ●オーブンおよびグリルの庫内に同梱物のないことを確かめてから点火確認してください。
  - ●電子レンジの場合は庫内に金属部品のないことを確かめてから、水を入れたコップを庫内に入れて作動確認してください。

7 設置工事後の点検確認

- ●チェックリストに基づいて確認してください。

点検項目		点検内容	参照項目	チェック
機器およびその周辺	ガス種	機器が使用するガス種に適合しているか。（銘板確認）	1	
	電源（電圧）	電源電圧が適合しているか。（銘板確認）	1	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分か。	1	
	水平設置	水平にセットされているか。	1	
	安定設置	ガタツキはないか。	1	
	換気設備	十分換気できる場所に設置されているか。	1	
ガス配管接続工事		ガス漏れはないか。	4	
ラベル貼付		接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼付したか。		
電気工事		電源コンセントは専用回路になっているか。	5	
		アース工事をしたか。	5	
付属部品		調理用付属品は同梱されているか｡また正しく取り付けられているか。	3	
レンジフードファン連動		レンジフードファンが正しく作動するか｡（レンジフードファン連動の場合）	6	
その他		グリル､オーブン庫内に同梱物が残っていないか。		

8 試点火および試運転

■試点火および試運転

正しく設置工事されていることを確認してからガス栓（ねじガス栓）を開き取扱説明書に基づき、試運転を行ってください。

- ●点火確認をする前にガス漏れがないか確認してください。
- ●コンロの点着火ができない場合コンロ部の設置工事説明書に従い再度チェックし点火確認してください。
- ●オーブンおよびグリルの庫内に同梱物のないことを確かめてから点火確認してください。
- ●電子レンジの場合は庫内に金属部品のないことを確かめてから、水を入れたコップを庫内に入れて作動確認してください。

■試運転終了後の処置

試運転終了後長期間使用しない場合は、ガス栓（ねじガス栓）を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、乾電池を取りはずしてください。

⚠注意

確認　電源プラグを抜く
●**長期間使用しない場合は、ガス栓（ねじガス栓）を閉め電源プラグをコンセントから抜いておく**

■お客様への説明

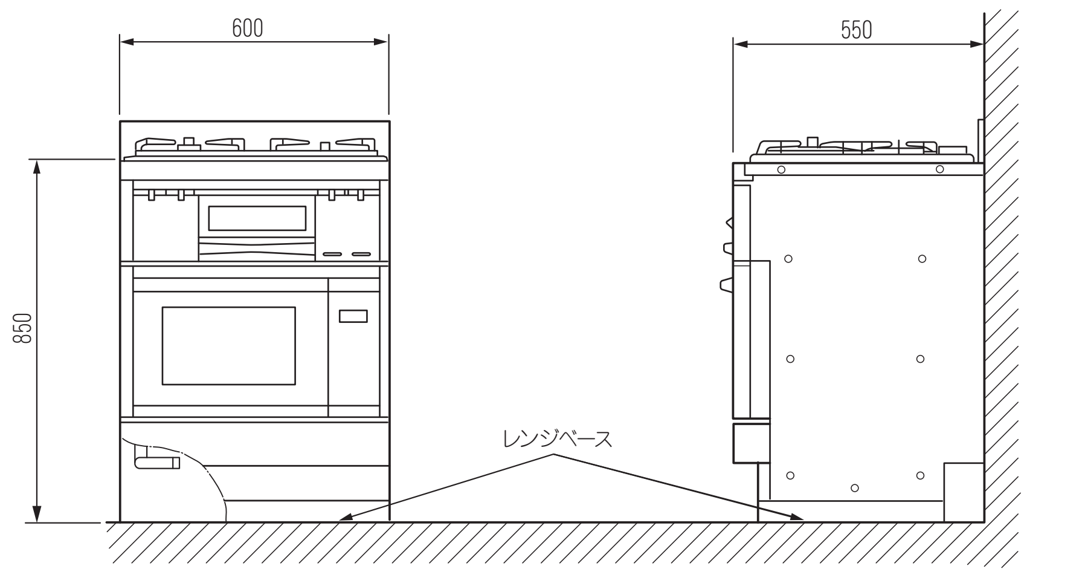
取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

取扱説明書内の保証書に必要事項を記入のうえ、保証内容を説明してください。またオーブン・コンロ側の取扱説明書、設置工事説明書の保管のお願いをしてください。

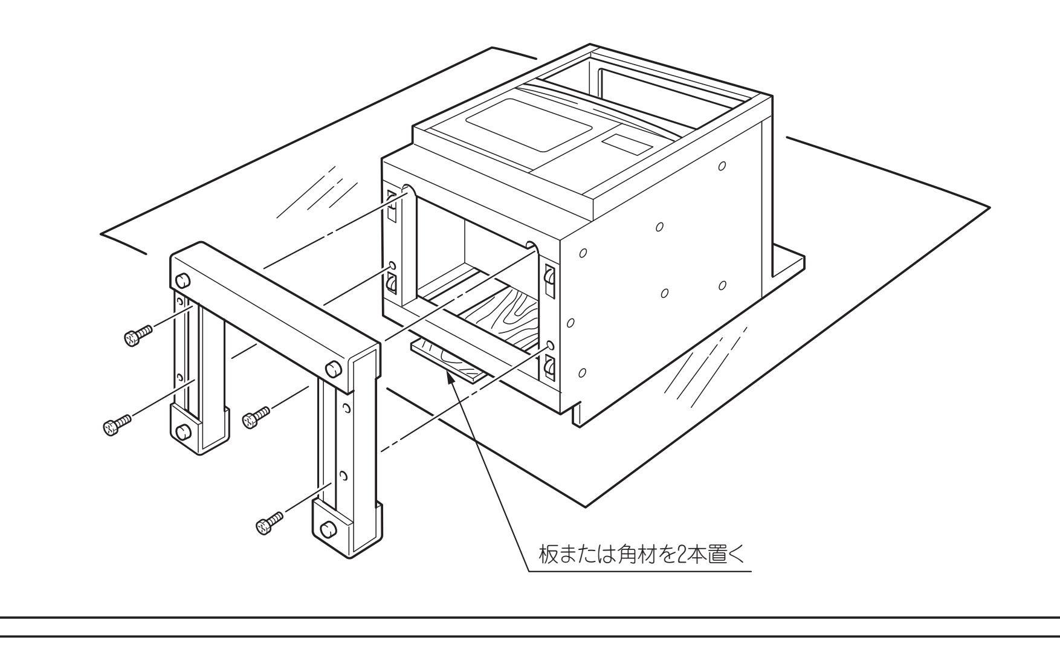
（オプション部品）

■高さ850㎜にする場合、別途販売しておりますので、もよりの販売店か営業所でお求めください。

○レンジベース　　型式名　　UK-125（品名コード　47-5207）
この商品を取り付けますと高さが850㎜になります。


600
550
850
レンジベース

■レンジベースを取り付ける際は 7．レンジキットのステンレス天板を取り付ける の後、本体を後ろに倒し取り付けます。後ろに倒す際は、側板が変形する恐れがありますので、巾500㎜程度、厚さ10㎜以上の板か厚さ10㎜以上の角材２本を後ろに置き倒してください。


板または角材を2本置く

製造者　リンナイ株式会社

UKRU600-136（00）
07000004702770